

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ここから笹ざき			
○保護者評価実施期間	令和7年1月4日		～	令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25家庭	(回答者数)	23家庭
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～	令和7年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	屋内スポーツ施設の「ピヴォーレ福岡」を活用し、運動支援を中心とした支援を行ってまいります。天候に左右されず、個別の対応を行える環境を常に用意できる事は、本事業所の最大の強みです。	メインの計画者を全職員でローテーションする事で画一的なものにならないようにすると共に、必ず全体で毎日の運動支援会議、毎週金曜日の総合ミーティングを行い、安全面や楽しさ、理学療法士の視点を交えた運動の専門性や効果など常に共有・改善を行っています。	運動支援をメインとした放課後等デイサービスの為、年に1度、支援の一環としてスポーツフェスタ(運動会)を行っております。昨年11月には、姉妹施設である放課後等デイサービス「ここから仲ばる」がOPENしました。これからは、1事業所に留まらない開かれた活動を行う事業所を目指してまいります。
2	事業所の柱の1つである外出行事を、土曜日や長期休暇の休校日に積極的に行っております。1回でも多く様々な場所へ外出向き、自然体験や社会体験を積めるよう意識して取り組んでおります。	地域行事への積極的な参加や、季節毎に春は登山、夏は川遊びなど、目玉となる活動を計画・実施しています。川遊びの前には水難事故防止の研修の実施、山登りの前には事前の下見とルート確認など、安全面の配慮も怠らないよう心掛けております。	現状に満足せず、更に多くの未だ行った事のない外出先も計画していければと考えています。また、上記と同じく「ここから仲ばる」との合同での外出など、より拡がり楽しい外出になるよう尽力してまいります。
3	「ピヴォーレ福岡」の繋がりを活かし、同系列店である「パデル福岡」でも今後運動支援を計画しております。また、元フットサル日本代表の森 洸さん、元ラグビー日本代表の桑水流 裕策さん、お笑いタレント・麒麟の田村 裕さんなど各専門分野で活躍されている方々との交流や、女子プロサッカークラブの福岡J・アンクラスによる特別レッスンなど地元で活躍されているチームと交流するなど、1事業所に留まらない幅広い交流の機会を設けております。	既記載内容の他、秋のハロウィンパーティーの際には事業所1階の鈴木不動産にご協力いただき利用者さまへのお菓子の配布や、笹崎宮の宮司さんによる境内の案内イベントを計画するなど、可能な限り地域に溶け込み参加できるように意識しております。	地域の一部としてより開かれた事業所でいられるよう、積極的な地域参加や交流の機会の計画、実施を行ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動支援を中心とした支援を行っており、下校時刻や状況次第では宿題や机上で行う勉強に十分な時間を確保する事が難しい場合があります。	平日の登校日に関しましては、16:00～17:00の時間は『ピヴォーレ福岡』にて運動支援を行う為、下校後～16:00までの間のみ宿題や机上で行う勉強に充てる事になります。	ご契約の時点で放課後等デイサービスここから笹ざきは運動支援を中心とした支援を行っている事、16:00～17:00の間は場所を「ピヴォーレ福岡」に移動する事などを説明し、ご了承いただいております。休校日、特に夏季休暇中は宿題や机上で行う勉強の時間を確保できるよう工夫しております。
2	事業所の立地から、肢体不自由の方には通所が難しい場合があります。	事業所が2階に位置している為に階段の昇降が必要となります。事業所が2階にある事や向かいの道が幅の狭い道となっております。	入口の手すりや会談には滑り止めの加工をしております。その他バリアフリー化に関しましては適宜対応を検討しております。安全面に関しましてはスタッフ、利用者共に共通のルールを設け、事故や怪我のないよう細心の注意を払いながら移動を行っています。
3			

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名 放課後等デイサービス ここから登ざき

公表日 令和7年3月28日

利用児童数 28人(25家庭)

回収数 26人(23家庭)

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	3	1	1	・室内で過ごしている時は、何をして過ごしているのかわかりません。 ・場所がない区域なのでしかたないと思っています。 ・多くいらしてありがたいです。	(1:回答) 昨年度は回収分全て「はい」との回答をいただいておりますが、今年度からのご利用者様にしまして、今後はより具体的にお伝えを行ってまいります。また活動は屋内スポーツ施設『ビヴォーレ福岡』にて行っており、十分なスペースを確保できております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	5	1	4	・2階にあるので、バリアフリーに関しては難しいのかな、と思います。 ・入り口までが階段なのでバリアフリーは難しいかと思えます。	(3:回答) 事業所が2階にありますので、入口の手すりや階段には滑り止めの加工をしております。その他バリアフリー化に関しては適宜対応を検討しておりますが、事業所の特性上、他事業所に比べ難しい状況もあります。ご理解とご協力をいただけますと幸いです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			3		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			1		支援プログラムを、令和7年2月6日(木)に事業所入り口とホームページ上にて公開させていただきました。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22			1		(7・8:回答) 利用の都度 観察・記録と保護者さまとの情報共有を行い、また半年に1度のモニタリング、必要に応じて相談支援員、他故デイ、学校等を交えた話し合いの上で設定・作成、保護者さまに同意を得ております。何かご要望等ございましたら、遠慮なくお申し付けください。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23				・長期休暇の際の外出等、色々工夫されていて感謝しています。 ・先日のクッキングでの初めての焼き肉は子供が喜んでいました。	(11:回答) 休校日や長期休暇を中心に、地域の公園や遠方への外出を企画しております。外出の際には自然と周囲の子も連との交流が生まれ、必要に応じて職員がその手助けを行っています。 貴重な子ども連同士の交流を大切に出来るよう、常に意識しております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	3	4	8		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1		1		(14・16:回答) 白旗から利用者様に関する悩みや相談をいただいております。日々の申し送り他、必要に応じて相談支援員を交えての会議、研修のご案内など 都度可能な限りの対応をさせていただいております。何かその他ご要望等ございましたら遠慮なく仰ってください。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	23					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	4		1	・きょうだい同士の交流については分からないのですが...	(18:回答) 保護者会は毎年11月23日に開催させていただいております。より保護者同士、きょうだい同士の交流の機会の設定を今後は課題とし、来年度は取り組んでまいります。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23				・話しやすい環境を作っております。	
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23				・話しやすい環境を作っております。	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23					
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23						

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ここから宮ざき		公表日		令和7年3月28日	
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点	
		はい	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		支援の場所として屋内スポーツ施設「ピヴォール福岡」を活用することにより十分に確保できております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		人員配置だけでなく、有事の際にはすぐに対応できるよう職員を配置しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	事業所が2階のため、完全なバリアフリー化は難しい部分があります。視覚支援や室内段差を除去、人工芝マットの活用等、利用者様に負担のかからない環境設定を行っております。毎日、清掃・消毒を行っております。	事業所のある2階に向かう階段と手すりには滑り止め加工を行う等、可能な限りの安全対策を行っております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		活動による学習室とプレイルームの使い分けの他、各種仕切りや静養スペースも用意しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		毎日の活動の反省・振り返り、当日の活動の打ち合わせ、毎週1回全員での会議支援を行い、職員間で共有しております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		本ガイドラインの他、毎年11月23日に保護者会を実施し、その際にも終了後にアンケートの実施回収、内容を受けての改善を行っております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		弊社と連携している団体・個人に意見を聴取し、改善した方がよい項目があった場合は積極的に取り入れております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		事業所内での研修の他、外部研修も積極的に参加を促しております。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページへの掲載と併せ、事業所の入口に貼り出しを行っております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		利用者様個々の個別支援計画を保護者様と相談、作成した上、運動を中心とした支援を行っております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		毎日の活動の反省・振り返り、当日の活動の打ち合わせ、毎週1回全員での会議支援を行い、児童発達支援管理責任者と他職員で相談・話し合う場を設けております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		必ず、運動支援・外出活動等それぞれの計画を立て、チーム全体での立案・企画・改善を行っております。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		事業所内活動・運動支援活動・外出活動等は職員間で協議し、様々な内容の活動を行っております。また、毎日の支援内容の計画・実行役をローテーションしております。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		職員が毎週打ち合わせを行い計画策定を行っており、形骸化されたものではなく、その時の利用者様に合わせた計画策定を心がけております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		当日の支援担当者を中心に、その日の支援内容の確認・最終調整を行っております。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		前日の支援担当者を中心に、翌日支援内容の振り返りを行っております。優先順位を考え、緊急性の高いものから解決するよう心がけております。		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援記録は「誰が見てもわかりやすく作る」という意識で作成しております。また実施後、作成者の所感、全体での反省等も必ず行っております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		常に利用者様との対話を意識しております。一緒に問題点を見つけだし、解決へ向け手助けをしておりますが、最終的な決定は利用者様自身が行い、行動できるように促しております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者を中心に、その他職員も必要に応じて参画しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		現時点では、他の放課後等デイサービスや学校との連携・共有に留まっています。今後、必要に応じて連携・共有を行ってまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎時の担任の先生との申し送りを始め、必要に応じ相談支援員を交え、学校での会議を実施しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	利用開始前にアセスメントシートの共有・会議等を行っております。	今後は、必要に応じて学校以前の機関との情報共有・相互理解を深めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5		現時点では、当事業所利用者の方で卒業生がおりません。今後、必要に応じて連携・共有を行ってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		現時点では、他の放課後等デイサービスや学校との連携・共有に留まっています。今後、必要に応じて連携・共有を行ってまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	各分野で活躍されている著名人(プロスポーツ選手、タレント等)をお招きし、交流機会として実施しております。	積極的な交流を推進・計画・実施をしていきたいと考えております。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		現状、日にち・時間等の理由により参加ができておりません。今後は可能な限り日時の調整を行い参加してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		インスタグラムを始めとしたSNS発信、毎日の連絡帳や送迎時の申し送り等々、気になる点があれば相互に共有するよう努めております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	相談支援員を通じ、専門機関の紹介等を行っております。	把握が不十分な職員に対し、周知・徹底を図ります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		連絡帳やLINE・電話・送迎時の申し送り時、その他必要に応じた会議当、その時々に応じて様々な形で対応させていただいております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		今年度も11月23日に保護者会を実施しております。	保護者会終了後に実施させていただきましたアンケートにおいて、ニーズや課題が見えてきました。来年度はその部分を活かし、より良い保護者会を目指してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		何か苦情等があった際には毎日の会議にて職員全体で協議・改善の上、保護者様・利用者様にお伝えしております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		インスタグラムを始めとしたSNSを活用し、基本的には毎日発信を行っております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		事前に保護者様に了承をいただいた上で、活動写真を用いたSNS発信をしております。また掲載前には必ず、掲載NGの方がいないかのダブルチェックを行っております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	宮崎宮の宮司による宮内案内等の他、地域のお祭りへの参加など、地元を知る活動を積極的にしております。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		年に2回以上、避難訓練を実施しております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		服薬が必要な利用者様の薬の保管場所の固定、服薬後の全体共有などを常に行っております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時のアセスメントシート記入とその内容を職員で共有・事業所内に掲示し、徹底した意識・管理を行っております。また変更の際は保護者様との連携確認を行っております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		事業所内に限らず、運動活動場所の屋内スポーツ施設『ビヴォーレ福岡』や市の防災センター等も活用し、定められた訓練等を実施しております。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		作成したヒヤリハット事例集は入社した職員全員が必ず目を通し話し合いを行い、今後気をつけるべきポイントの一つとして意識するよう心がけております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		定期的に研修の実施の他、おさらいも兼ね全体で話し合う機会を設けております。	